

## 電話での別れのスクリプト (2020)

医療従事者	家族
担当の医師・看護師の〇〇です。	
状態が思わしくなく、これが最期のお別れになるとおもいます。最期にお電話で声をかけてあげて欲しいのですが。	正直、頭が真っ白で何をいったらいいのか分かりません。
例をいくつかあげてみますね。 こういった言葉をかけられる方が多いです。 「これまでありがとう。」 「大変だったね。よく頑張ったね。」 「お疲れ様。」 「もう頑張らなくていいよ。」 「大好きだよ。」 どうですか？	じゃ、「ありがとう」からはじめてみます。
頭で考えるのではなくて心から湧いてくる言葉がいいですね。	でも聞こえるんですか？
答えられないかもしれませんが、最後まで残るのは聴覚ですから聞こえてると思います。あなたの声はわかるでしょう。	じゃ〇〇（名前）だよ、と伝えて「ありがとう」からはじめてみます。
お辛い時ですが家族からの声が聞けたらきっと安心されると思います。〇〇さんの後、他にもご家族が側にいらっしゃったら、お声をかけられたらどうでしょう。	はい、じゃ他の家族も呼んでできます。
もう電話を耳元に置いてありますので、準備ができたらいつでも声をかけてあげてください。	〇〇（名前）だよ。.....
	〇〇（他の家族）だよ。.....
ありがとうございました。	ありがとうございました。おかげさまでお別れをいうことができました。
ご家族の皆さんにとってもお辛い時ですが、私に何かできることがありますか？	今は気持ちが動転していて分かりません。
ご家族にとっても、どれだけ大切な方（患者）だったかというのがよく分かりました。最後に立ち会えて光栄です。	色々ありがとうございました。
また落ち着いた時期にお電話させていただいてもよろしいですか？	よろしくお願ひします。

このスクリプトは VitalTalk（バイタルトーク）という米国初の医療コミュニケーショントレーニングの創始者の一人である Dr. Anthony Back（ワシントン大学）がその他の協力者と作成したものを、臨床心理学者でありグリーフケアスペシャリストの森田亜紀が日本の文化にあわせて新たに作り替えたものです。ご質問等は森田亜紀, Psy.D. [akimorita84@gmail.com](mailto:akimorita84@gmail.com) までお問い合わせください。